

(学校用)

様式 A-1

平成 28年 12月 23 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 名古屋市立向陽高等学校 酒井亘文
2. 講師氏名: Sara TURRIZIANI 博士 (Ms.)
3. 同行者氏名: 無し
4. 実施日時: 平成 28年 12月 16日 (金) 13:15~14:20
5. 参加生徒: 年生 人、 2年生 39人、 年生 人 (合計 39人)
備考: 国際科学科生徒
6. 講演題目: (英文) Being an astronomer in the Modern World
(和文) 現代の社会で天文学者であることの意義 d
7. 講演概要: 講師の出身地であるイタリア国の文化紹介、および研究テーマである天文学、殊にブラックホールに関する説明
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 40 分 質疑応答時間 15 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
 プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
 無し
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
 講演の発表原稿を事前に生徒が通読
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: